

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金に係る 平成28年度 取組計画 (案)

平成27年度の寄附実績を踏まえ、現時点では寄附募集の趣旨が十分浸透していないと考えられることから、今後は国体・全国障害者スポーツ大会開催はもとより、開催までの過程における施設整備や競技力向上への充当を目指す「滋賀のスポーツを応援する」ための寄附募集であることの説明をより丁寧に行う必要がある。

このため、「募金推進計画」全体スケジュールにおける「スタート・ダッシュ期」の中間年に当たる平成28年度においては、個人や企業・団体に向けたさらなる寄附募集の周知に向け、説明機会の増加と手段の拡充を図るため、以下の取組を進める。

1 個人

寄附受付の手段を拡大するとともに、広報活動と連携し、大会開催の周知とあわせて寄附募集を行い、機会の充実を図る。

- (1) インターネットによる寄附受付(Yahoo! 公金支払い)の開始(平成28年4月～)
- (2) 募金箱の設置箇所の拡大
→競技会場地として決定した体育施設+市町立の体育館への設置協力を依頼
- (3) 街頭やイベント会場での募金活動の実施
→県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施予定。
- (4) スポーツイベント等とのタイアップの実施
→レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集等。

2 企業・団体

直接訪問による依頼を強化するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、多様な手法を積極的に提示する。

- (1) 企業等向け協力依頼パンフレットの作成
- (2) 直接訪問による依頼
→企業等のニーズを把握し、寄附への協力が企業PRにつながるメニューを開発。
- (3) インターネットでの周知・協力依頼
- (4) 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税制度)の導入準備
→県外企業による寄附の税制面におけるメリットを倍増させる、「地方創生応援税制」の事業認定に向けた準備を進める。

3 学校との連携

県内の学校等と連携協力により、若い世代の発想を活かした寄附募集の機運醸成を図る。

(1) 寄附募集ポスターのデザインコンテストの実施

→県内の大学等にデザイン募集を行い、最優秀作品をポスターとして県内各施設等で掲示

(2) 募金箱デザインコンテストの実施

→県内の小中学校等に、募金箱に貼付するステッカーのデザイン募集を行い、優秀作品を県内各所に設置する募金箱に貼付のうえ活用する。